

水俣病が公式確認されて今年（2016年）で60年となり、節目の記念講演が5月3、4、5日東大安田講堂であった。主催の認定特定NPO水俣フォーラムの代表はかねてより、現政権に批判的であるのをみていた小生は、水俣関連図書販売テーブルの一隅に統一署名用紙を置くことを申し出た。即、快諾で300部を用意。「この場で署名するか、または、必要な枚数を持ち帰り、家族・知人に署名をもらい記載の宛先に送付してください」のお知らせのととも置くことになった。この講演会（来場3日述べ2400人）とは別日にドキュメンタリ映画上映場（来場150人）にも置いた。結果は現地署名5人、持ち帰られたと思えるのが50枚。

その他、昨年末高校の同窓会時9人に署名依頼。1人以外が快諾--まあ快諾の内訳は不明ながら、うむ、さすが我が校、話せるなど密かに快哉。上記「お知らせ」の趣旨でもっと枚数を多く持っていけばよかったと悔やんだ。